

## 飯田市について

- ・人口:約103,700人 (H28.3.31現在)
- ・面積:658.66km<sup>2</sup> (森林面積割合84%)
- ・年間日照時間:2006.6時間(2015年)
- ・太陽光発電普及率8.3% (H27年度末)



南信州を代表する特産物「市田柿」



全国一焼き肉店の多い街  
(人口1万人当たりの焼き肉店舗数 5.31軒)

## 地域環境権条例

地域に賦存する再エネ資源をエネルギーとして供給し経済的価値を地域内に循環させる。

地域のエネルギー需給において再エネ資源を最大限活用し、地域全体の環境的価値を向上させる。

再エネ資源は、市民や地域の土地と密接な関わりがある。

再エネ資源を、市民の総有財産とし、これを地域づくりに活用する地域環境権を市民に保障する。

資金確保、リスク管理、収益の活用方法等、事業化における市民の主体的な共同決定を重ねていく過程で、住民自治力を醸成する。

飯田市は地域環境権条例で、市民が主導する再エネを活用した事業を支援して環境モデル都市の政策を強力に推進していく。

### 地域環境権条例

飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例

再エネによる経済的価値と環境的価値を創出する地域主導再エネビジネスを市民が積極的に担う。

市民主導により地域内で再エネと財貨を循環させて、**エネルギー自治**の視点から地方創生を強力に推進。

## 環境モデル都市「飯田」の取組

### ①地域環境権条例事例紹介「飯田市立旭ヶ丘中学校太陽光発電設備設置事業」

認定事業  
第8号

#### 中学校生徒会の発案による学校太陽光発電事業



校舎屋上に57.24kWの太陽光パネル設置

57.24 kW

旭ヶ丘中学校

おひさま9号株式会社

売電収益の一部を寄附

旭ヶ丘中学校太陽光発電事業推進協議会

事業主体

地域環境権条例により事業認定

飯田市

助言・支援

山本地区

生徒が計画づくりをして、寄附金を原資に地域とともに活動する。

伊賀良地区

中学生が地域の方に事業説明をしている様子

#### 公益的な利益還元計画

- ①蓄電池付き太陽光パネル設置により、指定避難場所としての防災機能向上。
- ②理科室横に環境教育用太陽光パネル設置により、生徒に対する環境教育への貢献。
- ③寄附金は、生徒が中心となり、両地区と連系した環境学習や地域活動のために活用。

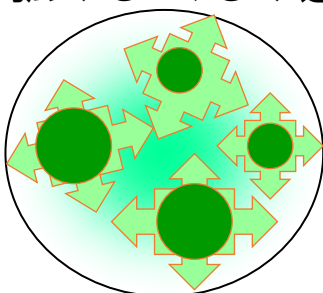


認定式及び協定書調印式の記念写真(H27.12.22)

### ②地域ぐるみ環境ISO研究会

飯田市を中心とする南信州地域における環境マネジメントシステムの取組は行政ではなく、民間企業が主導する研究会により展開されている。

事業所「点」から地域「面」へ裾野を広げる「ぐるみ運動」



地域独自のEMS「南信州いいむす21」ISO 14001を基本に4つのレベルに。研究会が支援・審査、行政の集合体「南信州広域連合」が登録証発行を担う。



## 問合せ先

飯田市役所 市民協働環境部環境モデル都市推進課 地域エネルギー計画係 担当:小川  
Tel 0265-22-4511 内線5473 Fax 0265-22-4673 Mail sakugen\_co2@city.iida.lg.jp